

令和 2 年度 宇都宮市立清原東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

日本国憲法及び教育基本法にのっとり「人間尊重の教育」を基盤とし、一人一人の児童を正しく理解し、個性を尊重し、よりよき人格の陶冶を図り、「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童」を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・心豊かで思いやりのある子ども（やさしい子）
- ・進んで学びよく考える子ども（まなぶ子）
- ・健康でたくましい子ども（たくましい子）
- ・心をつくして働く子ども（はたらく子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学びの連続性を確保し、児童が社会において自立的に生きる基盤を培う活気に満ちた学校づくり」

義務教育における9年間の学習プロセスを踏まえ、社会で自立的に生きるために必要となる力を身に付けることができるよう教育活動を展開し、児童一人一人が自己実現に積極的に挑戦できる魅力ある学校の創造に向けて、保護者や地域等の協働のもと、全職員が一丸となって取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 学習指導の充実

- 義務教育9年間の学びのプロセスを重視しながら、国語や算数などの基礎・基本を中核として、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等を育む学習指導の充実を図る。
- ・ 教師が共通した課題意識をもち指導方法を取り入れることにより、課題設定、解決の方策、実践、評価などの工夫を通して、社会的自立に向けた課題解決能力や情報活用能力等を育成する。

(2) 児童指導の充実

- 児童の発達段階を踏まえながら、学校教育全体において道德教育を充実させるとともに、郷土への愛情を育む取組等を推進することで、規範意識や思いやりの心を育む。
- ・ 児童の主体性を尊重した教育活動を展開することにより、「認め、励ます」ことにより自己有用感の向上を図るとともに、いじめや不登校対策等に対して組織的な取組を進める。

(3) 教職員の資質能力の向上

- ・ 教育公務員としての職務・職責を自覚するとともに、OJT等を通して授業力や学級経営力等の教師としての能力向上を図りながら、組織としての同僚性の醸成を図る。
- ・ 業務の効率化の推進と勤務時間の適切な管理を行いながら、全教職員が共通理解・共通実践のもと、長時間勤務の是正及び健康安全管理に積極的に取り組んでいく。

(4) 地域の教育力の活用

- ・ 家庭や地域、企業等との協働を推進することにより、様々な教育資源（ひと・もの・こと）を生かした地域とともにある学校づくりに努める。
- ・ 保護者や地域の声を学校経営に生かすとともに、家庭的な問題を抱えている児童や外国人児童への対応を関係諸機関と連携を図りながら、よりよい児童の育成に向けて取り組む。

(5) 危機管理意識の高揚

- ・ 普段から全教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに、客観的な情報を多方面から収集することに努め、時機に応じて内容や手順を検討し見直しを行う。
- ・ 危機的状況に対した場合は、常に最悪の状況を想定しながら、特に初期対応を迅速かつ慎重に進め、指揮系統を明確にした対応を図っていく。

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、学校や地域の特色を生かし、地域の豊かな環境や人材の積極的な活用に取り組むとともに、教科と領域における教育双方の強みやよさを生かしながら、教育課程全体として力を発揮させて、児童一人一人の資質・能力が育成できるよう「カリキュラム・マネジメント」の一層の促進を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
○ 社会を自立的に生きることができる児童の育成を目指し、人との豊かなかかわりを生かした活動に取り組むとともに、学校業務の効率化の強力で推進する。
- (2) 学習指導
児童一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、分かる喜びを味わうことのできる児童の育成
- (3) 児童生徒指導
規範意識や基本的生活習慣を身に付け、互いのよさを認め合い尊重できる児童の育成
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るために、進んで健康・体力づくりに励みたくましく生きる児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答90%以上	① 朝の学習や授業で、漢字や計算の練習や小テストを行うことにより、基礎学力の定着を図る。 ② 学年に応じた宿題の出し方を工夫するとともに、家庭での時間の使い方を啓発し、家庭学習の習慣化を図る。（特に漢字・計算）		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上	① 問題解決的な学習や役割演技などの模擬体験型の学習を取り入れることで道徳の「親切、思いやり」の授業を充実させる。 ② 縦割り班遊びを行うことで、異学年交流を充実させ、思いやりの心を育む。 ③ 動植物の世話を通して、思いやりの心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答80%以上	① 「清原っ子みんなのやくそく」と「清東小スタンダード」をもとに週の生活目標などに掲げながら、基本的生活習慣を身に付けさせていく。 その中でも、「廊下は歩く」「時刻を守る」など、学校生活で中心となるきまりについて、教職員が足並みを揃えて指導していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 ⇒教職員の肯定的回答85%以上 ⇒保護者、地域の肯定的回答80%以上	① 地域と連携した朝のあいさつ運動を行う。 ② 毎週月曜日にあいさつ運動を行うなど、児童会によるあいさつ運動に積極的に取り組む。 ③ 教職員が率先してあいさつをすることで、あいさつがしやすい雰囲気醸成する。		【達成状況】 【次年度の方針】

<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童（わたし）は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 自分の将来を意識して生活ができるように「わたしの夢」掲示し、将来の自分への関心を高める。</p> <p>② 漢字計算オリンピックや教科体育の各種検定、チャレンジブックなど、児童が具体的な目標を決めて取り組める活動を設定する。</p> <p>③ キャリアパスポートを活用して、家庭との連携を図り、学校だけでなく家庭でも児童の夢や目標について考えたり話し合ったりする機会を作る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 朝食食べよう週間やキラキラウィークの設定、お弁当カードや元気アップカードを活用して生活習慣や自分の健康について興味関心を高める。</p> <p>② 各避難訓練や交通安全教室での体験を日常生活や普段の登下校に生かせるよう事前指導や事後指導を充実させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 「児童（わたし）は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間の「夢実現教室」や「人生の先輩に学ぶ」などで外部講師を活用し、自分の将来について具体的に考え、夢に向かって努力する素地を養う。</p> <p>② 委員会活動や縦割り班活動、学級の係活動や当番活動などを通して、友達やクラス、学校のために自分ができることを考え、実践できる場を設定する。</p> <p>③ ホームページや学校だよりなどを活用して、本校のキャリア教育や社会貢献に関わる活動などを保護者に周知する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ALTを活用した、英語によるやりとりを中心とした授業を推進する。</p> <p>② 朝の会に「デイリーイングリッシュ」を位置づけ、毎日英語にふれさせる機会を設定する。</p> <p>③ 5・6年生は、ALTとの「パフォーマンス評価」を年1回行い、話す力の定着度を見取り、指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 3・4年社会科・総合的な学習の時間において宇都宮市や清原地区の自然・産業・生き物などについて調べ学習を進めることで、郷土宇都宮のよさに気付き、親しむようにする。</p> <p>② 5・6年総合的な学習において、宇都宮市の自然、産業、歴史、文化等について学習することを通して、郷土に対する誇りや愛情を育むようにする。</p> <p>③ 朝やお昼の校内放送に「宇都宮の歌」を流したり、運動会において「清東音頭」を地域の皆様とともに踊る活動を取り入れたりして、郷土の歴史や伝統文化などに興味をもてるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 「児童はICT機器（パソコン）や図書等を学習に活用している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① プログラミング教育を適切に行うとともに、調べ学習やドリル学習等でのICT機器や図書等の積極的な活用を図る。</p> <p>② ICT機器を活用した「分かる授業」の展開に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

目指す学校の姿	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生活科の普遊びや農園作業などのボランティアのお年寄りとの交流を通して、高齢者への感謝やいたわりの気持ちを育む。 ② ボランティア感謝の会を通して、地域の高齢者への感謝の気持ちを表す。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 「児童は、持続可能な社会について、関心をもっている」 ⇒教職員の肯定的回答 70%以上</p>	<p>① 読書活動の一環として、朝の読み聞かせや教室配置の図書に、環境やエネルギー、国際理解、防災等に係る書籍を意図的に選択し、私たちの日常生活と地球規模の課題がつながっていることを感じさせる。 ② 年度当初に全教職員に共通理解を図るように働きかけ、意識を高めるようにするとともに、5年総合的な学習の時間において、「環境」「国際理解」について学習する際に、ESDについて意識できるよう配慮する。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
	<p>B1 地域や学校、友達のためになるよい行いをしている。【全】 【数値指標】 「私は、地域や学校、友達のためになる善い行いをしたことがある」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 帰りの会などでよい行いを認め合い、奨励することにより、意識の高揚を図る。 ② 特に顕著な行いは、「宮っ子心の教育表彰」で表彰していく。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
	<p>B2 食後の歯磨きの大切さを知り、丁寧に磨いている。【児・教・保】 【数値指標】 「私は、食後ていねいに歯磨きをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「児童は、食後の歯磨きの大切さを知り、丁寧に磨いている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 給食後の歯磨きタイムを充実させ習慣化を図る。 ② 学級活動や保健の授業の時間を活用し、養護教諭と連携しながら、歯の健康について発達段階に応じて丁寧に指導し、理解を深める。 ③ 元気アップカードや健康診断のお知らせ等を通して家庭と連携、協力する。 ④ 保健だよりで歯磨きの意義について周知を図る。 ⑤ 児童による歯ブラシチェックを実施し、きれいな歯ブラシで磨くことの大切さを意識づける。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要としている児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 特別な支援が必要な児童に対して、個別の支援計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。 ② 職員会議の折に、児童の情報交換を行って共通理解を図り、適切な支援をする。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>
<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校いじめ防止基本方針に基づき、常に実態把握をしながらいじめの未然防止、即時対応に努める。 ③ いじめの早期発見・早期解決のため、5月、9月、11月、2月に実態調査を実施し、学期に1回教育相談を行う。 ③ いじめゼロ強調月間の取組を充実させる。 ④ 道徳の時間にいじめに関する内容を扱った授業をするなど、人権感覚の醸成を図る。</p>	<p>【達成状況】 【次年度の方針】</p>	

<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童、教職員、地域の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 授業などにおいて、教職員が児童の良さを取り上げ、他の児童に紹介するなどして、自己有用感の向上を図る。</p> <p>② グループ学習や係活動の充実を図ることで、自分の考えを活かしたり、達成感を味わえるようにしたりすることで、帰属意識の高い学級づくりを目指し、不適応反応の予防に努める。</p> <p>③ 帰りの会で児童の良い行いを互いに発表し合う活動を取り入れる。教職員同士の情報交換を密にして、児童の些細な変化を伝え合えるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要としている児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 「日本語教室」において、「個別の指導計画」を作成し、児童の実態を把握して、学習支援を行う。</p> <p>② 「日本語指導講師」と連携し、外国人児童の日本語の力に応じた日本語指導を行ったり、保護者への通訳や翻訳を依頼したりするように努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 児童や地域の実態を踏まえて、前年度の評価結果と反省をもとに、教育課程を編成する。</p> <p>② 学校行事や児童会活動、学級活動等、児童が主体的・自立的に取り組む場を可能な限り設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上 ⇒保護者、地域の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 単元や本時のめあてを明確にし、ICT機器を積極的に活用するなど、学習意欲を高めるための授業や分かる授業を工夫をする。</p> <p>② 整理された分かりやすい板書計画を立てる。</p> <p>③ 少人数指導、TTによる指導、日本語指導、かがやきルームの活用など学習状況を適切に把握し、指導の工夫・改善をする。</p> <p>④ 一人一授業を行い、指導法の工夫・改善をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校運営の方向性を明確にし、教員も専門スタッフも「チームとしての学校」の一員として目的を共有し、取組の方向性を揃えるようにする。</p> <p>② 日頃より良好な人間関係作りに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができる環境を整えていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 教職員の毎月の時間外勤務状況を正しく把握し、必要に応じて個別の面談や医師による健康相談を実施できるようにする。</p> <p>② 業務の精選・見直し、事務処理の効率化など長時間労働の改善のため、校務分掌の見直しを行う。</p> <p>③ 学年、ブロック、あるいは個人で「今月のリフレッシュデー」を設定するとともに、勤務時間を意識した勤務に心がけるなど、長時間勤務の改善に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 小中が情報を交換し合い、義務教育9年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を推進する。</p> <p>② 小中間の交流活動を活性化することで、スムーズに中学校生活が始まるようにする。 ・あいさつ運動 ・6年中学校訪問</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 「学校は家庭・地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 読書ボランティア、外部講師や地域ボランティアと連携した活動を各学年とも学期に1回以上実施する。</p> <p>② 各学年の校外学習をはじめとして、地域と連携した教育活動の実施に向け、「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効に活用し、学校運営の充実を図る。</p> <p>③ 保護者との連携を深めるために、個人懇談や学級懇談等を活用して理解を深め、信頼関係の構築を図るようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は家庭・地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 各種通知や学校ホームページ、保護者会や個人懇談などの機会を利用して、学校の教育方針や教育活動について理解を図る。</p> <p>② 「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を強化し、保護者や地域住民の意見を的確に学校運営に反映するとともに、地域の教育力を学校支援や環境整備などに有効に生かし学校教育の充実を図る。</p> <p>③ 「ふれあい発見ラリー」や「6年夢実現教室」において、地域の企業や様々なジャンルで働く方々を招き、仕事に関する話や実演などを通し、児童が自らの将来に関心をもてるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者、地域の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 毎月一回安全点検を実施し、学校環境における潜在的危険を点検観察し、児童が常に安全な環境で学習活動が行えるように努める。</p> <p>② 特に児童が多く活動を行うと思われる箇所の設備等においては日常的に点検を行い、必要に応じて修繕等を迅速に行うよう努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 「児童はICT機器（パソコン）や図書等を学習に活用している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学習でタブレットを活用できるような研修やプログラミング教育の研修を行い、授業での積極的な活用を図る。</p> <p>② 学校図書館活用のための年間計画をもとに巡回図書を活用したり、教科に関連するコーナーを図書館に整備したりする。</p> <p>③ ICT機器が使える環境整備を計画的に進める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
<p>B3 互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている。〔児・教〕</p> <p>【数値指標】 「私は、話し合い活動することにより、友達の考えや思いがよく分かる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 「児童は、互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 自分の考えを書くなど、整理して伝える活動を多く取り入れ、考えを深める時間を確保する。</p> <p>② 各教科の授業で、言語活動（人前で話したり、意見や考えを表現したりする活動）の充実を図る。</p> <p>③ ペア・グループ学習などの学習形態を工夫し、学び合いの良さを意識させる活動を取り入れる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B4 様々な自然や人々とふれあい、体験する機会を作り、豊かな感性や人とかかわる力を育てている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 「児童は、他の学年の人や地域の人たちと一緒に活動するとき、進んで活動している。」 ⇒児童、教職員、保護者、地域の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 地域探検や夢実現教室、ふれあい発見ラリーなどの活動を通して、地域の自然や文化財等を活用するとともに、様々な人々とふれあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家での役割 ・町探検 ・地域探検 ・1/2成人式 ・人生の先輩に学ぶ ・農場体験学習 ・夢実現教室 ・ふれあい発見ラリー ・オオムラサキの観察・放蝶会 ・宇都宮学 ・総合的な学習の時間 <p>② ホームページや学校だよりなどを活用して、地域教材を利用した学習や行事について保護者へ周知し、学校の取組みについて理解が深まるよう努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
------------------	--	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。